

広報 くろねつ

第 49 号

発行所 黒崎町役場
印刷所 共立印刷機

〈町の動き〉

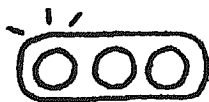
11月末現在	(前月比)
人口	18,050 +61
男	8,856 +32
女	9,194 +29
世帯数	4,251 +32
10月1日～末日まで	
死亡	12
出生	35
婚姻	33

交通戦争から幼児を守ろう

「ときちゃん」クラブ誕生



去る11月20日 黒鳥保育園での発会式



本町ではもちろん初めて、郡内でも初めての幼児交通安全クラブ「ときちゃんクラブ」が誕生した。

この第一号が私立黒鳥保育園（園長・源川遠城）において、新潟西警察署交通課長・本町派出所長・厚生課長・交通係が出席して発会式が行われ、いつふりかかるか知れない、交通戦争から幼児子どもたちを守らなければならないため特に本県における幼児の死亡事故は高い位置にあり、絶対に対処しなければならない。従ってお母さん方は常に子どもの模範となり、交通安全マナーの周知徹底を図ってほしいと各関係者より話があり、交通安全も自発的、積極的な姿勢がないと成功しない。家族ぐるみで活発に行おうと訴えた。

最後に、子どもとお母さんと一諸に「信号のうた」を歌って発会式は終了した。以後、警察や、保育所父母の会の積極的な姿勢が実を結び、十一月二十七日には、立仏保育所、二十八日、善久保育所、二十九日、大野保育所、十二月七日、木場保育所に交通安全トキちゃんクラブが決定され、年内には全保育所に設置し、悲しい災禍から子ども達を守ろうとたちあがった。

通産省より 家庭用灯油の安定 供給を図るため

(1)家庭用灯油についてはその国民生活に占める重要性を考慮して、これまでその量の確保と価格の安定に力をつけている。石油業界に要請を行ってきたが、その結果、十一月初旬の在庫量が約五八〇万バレル（六十三日分、昨年同期比二十四％増）と例年になく高水準の備蓄量を維持するともに、元売価格についても九月時点の価格を九月時点まで凍結することができている。

(2)しかしながら本格的な需要期を迎えるにあたり、家庭用灯油の安定供給に万全を期するため、当省は従来の措置に加え十一月二十八日より次の緊急対策を講ずることとした。

(4)家庭用灯油は小売価格について指導上限価格を設定、十八日で二百八十八円（店頭渡し、容器代別）とする。この価格は全国共通のものであり、これを上回ることはないよう元売から小売に至る各段階に応じて強力に指導するが従来前述価格以下で販売していた場合は、引統してその価格水準を維持するよう努力させる。

(5)家庭用灯油の量の確保については引統して最大限の努力を払う。このため家庭用灯油の出荷にあたってはいたづらに抑制することのないよう常時監視を続けることとする。

(3)通産省は前述の方針に沿って最大限の努力を払って行く所存である。消費者におかれては動揺して買急ぎ等に走り便乗を許すことのないよう賢明な態度をとられるよう要する。また、家庭用灯油の安全確保のため他部門に少なからざる供給削減等の負担をかける犠牲を強いることとなるので消費者自ら進んで消費節約について協力を求める。

以上通産省より通達があったのでお知らせします。